



今号からは「討論」です。

第35回 市教組定期大会、開催される！NO.7

【松田代議員の討論】

冒頭、運動方針に「高市政権の憲法改悪」を明記したことを高く評価するとともに、沖縄「慰霊の日」の式典で上がった「戦争反対」「憲法を守れ」という県民の声に触れ、**軍備拡大や憲法改正の動きに危機感**を示しました。また、「ストップ改憲」の集会に参加した経験を紹介し、行動を通して平和への思いを発信することの大切さを訴えました。さらに、学校現場ではICTやAIの活用が急速に進む一方で、子どもの思考力や学びへの影響について慎重な検証が必要であると指摘。戦時中の教育を例に挙げながら、教育の目的を見失ってはならないと述べました。最後に、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンのもと、全国の仲間と連携し、憲法を守り平和を築く運動をさらに広げていこうと呼びかけました。

【田中直美代議員の討論】

平和教育の継続と発展の重要性について発言しました。分会の仲間とともに、平和パネル展や平和学習を学校全体でとりくみ、教材や実践記録を引き継ぎながら活動を続けてきたことを紹介しました。また、八幡大空襲を題材とした学習や「八文字に思いを込めて」の紙芝居を活用した授業を通して、子どもたちや教職員に地域の戦争の歴史を伝えることの大切さを訴えました。さらに、平和のまちミュージアムでの学習機会の復活を市へ働きかけてほしいと要望するとともに、「8・6 平和のつどい」への参加を呼びかけました。最後に、「教え子を再び戦場に送るな」の理念のもと、子どもたちや若い教職員へ平和のバトンをつないでいくことの大切さを力強く訴えました。

【八幡特別支援学校 川原代議員の討論】

子育て・介護支援制度の周知について発言しました。昨年8月の勤務労働条件に関する交渉では、「子育て・介護いきいきハンドブック」の存在を知らない教職員が多いことを踏まえ、新年度当初に管理職が制度や権利について説明する研修を実施するよう要望したことを報告しました。教育委員会からは、校長会での周知や学校訪問時の指導を継続していることに加え、組合からも積極的に広めてほしいとの回答があったことが紹介されました。その後、学校では困っている教職員にハンドブックを紹介したり、「先生チャンネル」から閲覧・ダウンロードできることを伝えたりするなど、制度の活用を呼びかけてきたことを報告しました。さらに、AIを活用して必要な制度を調べ、休暇取得につなげている事例も紹介し、今後も子育てや介護と仕事を両立できる、誰もが安心して働ける職場づくりを進めていくことの重要性を訴えました。

【千代中学校 落水代議員の討論】

職場でのマネジメントと組合の役割について発言しました。今年度、一人分会となり心細さを感じる中でも、旅費制度改正により出張申請の負担が増えたことについて、業務改善に逆行する課題として職員へ説明し、業務改善アンケートなどを通して現場の声を届けるよう呼びかけたことを紹介しました。その経験を通して、一人であっても職場をより良くするために課題を共有し、改善の方向性を示すことも組合活動の大切な役割であると訴えました。また、執行部や分会と連携しながら、組合の存在感を示すとりくみを続けていきたいと決意を表明しました。さらに、昨年亡くなった福岡市教組事務職員部の仲間への思いに触れ、その遺志を受け継ぎ、「教え子を再び戦場に送るな」の理念のもと、平和への願いを次世代へつないでいくことの大切さを訴え、「8・6 平和のつどい」への参加を呼びかけました。

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



/// JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

